

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	876.45	2022/7/25
High	907.11	2022/7/29
Low	869.75	2022/7/25
Close	899.50	2022/7/29

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	3835.00	2022/7/25
High	3929.00	2022/7/28
Low	3814.00	2022/7/29
Close	3851.00	2022/7/29

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	2033.00	2022/7/25
High	2141.00	2022/7/29
Low	1974.00	2022/7/25
Close	2131.00	2022/7/29

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	8905.00	2022/7/25
High	9180.00	2022/7/29
Low	8667.00	2022/7/25
Close	9125.00	2022/7/29



ニュースエクスプレス

プラチナの将来、投資家は用心深さを持ちながらも楽観視

今年のプラチナとパラジウムの価格は、金融市場が金利上昇と実質成長に警戒感を持つ中で、高いインフレ率の影響を大きく受けている。

リサーチとコンサルタント会社の CPM Group は、7月27日、プラチナとパラジウムの展望に関するプレゼンテーションを行い、ロシアのウクライナへの軍事侵攻もPGM価格に影響をしている点を強調した。

「現状は不確定要素が非常に多い。金融市場は微妙な変化や予測にも反応するようになっており、金利上昇とともに、今年初めに予想していたよりも多くの中央銀行が保護主義的な金融政策を取る傾向が強くなっている。」と、CPMのマネージング・パートナーのJeff Christian氏が語った。

さらにChristian氏は、インフレ圧力は需要サイドではなく、供給サイドにかかっているとの見方も付け加えた。

同氏は2026年までに米国の不況はさらに深まり、それが今後のPGMの需要と供給に影響をすと見ている。

今年のPGM市場は非常に変動が大きく、その背景の大部分は西側諸国の投資家、製造会社、その他の関係筋が対ロシア制裁で、ロシアのプラチナ、パラジウム、ロジウムの輸出に制限がかかると懸念していることがある。

同時にPGMの最大消費産業である自動車産業は、2020年以降に実施されたコロナ対策のロックダウンと世界的な半導体不足問題から回復するのに苦戦しているという現実がある。半導体不足問題は少なくともあと一年継続する可能性があると言われている。

自動車産業はまた、プラチナとパラジウムの需要の大元であるディーゼルエンジンから、リチウム・ニッケル・コバルト・銅といったメタルを必要とするバッテリー電気自動車へ転換の真只中である。

CPMの望むところは、PGMは今後も自動車やその他の触媒としての需要を保ちながらもPGMを使う燃料電池技術がコストと物流両面からより現実的で魅力のあるものになるということだ。

<https://www.metalsdaily.com/link/333061/investors-remain-cautiously-optimistic-about-platinums-future.htm>

RBPlat、6ヶ月収益は減少と警告

南アフリカのPGM 鉱山会社 Royal Bafokeng Platinum(RBPlat) は、6月30日に終わった6ヶ月生産サイクルは、Bafokeng Rasimoneプラチナ鉱山が好調だったおかげで 4.5% 増えたにもかかわらず、一株当たりの収益とヘッドライン収益は前年より減ると発表した。

RBPlat は6ヶ月間の財務状況を調整中だが、減収に関しては PGMバスケット価格の下落とインパラ・プラチナムからの特許権使用料の減少によるとしている。

未償還の資本支出控除の減損に加え、消費者物価指標よりも高い鉱山採掘現場でのインフレ、所得税関連経費と特許権使用料の上昇が、コスト圧力となったとしている。

その結果、6ヶ月間の一株当たりの収益は 7.65 ランドとなり、前年と比べて 58.4%の下落、ヘッドライン収益 は7.67 ランドで、前年比マイナス 58.1% となった。

RBPlat は、6ヶ月間の財務状況を8月2日に公表する予定。

<https://www.miningweekly.com/article/rbplat-warns-of-half-year-earnings-decline-2022-07-28>

Translated by JBMA Osawa KAZUKO



WPIC直近の活動

- 古くから肥料製造に使われてきたプラチナ、今後は肥料製造業の脱炭素化にも。詳しくはプラチナ豆知識「可能性を秘めた土壌」(2022年7月27日)をご覧ください。 <https://platinuminvestment.com/about/60-seconds-in-platinum/2022/07/27>

- 長引くサプライチェーンの問題や経済成長の鈍化で消費購買力が低下し、その影響で自動車のプラチナ需要が打撃を受けるのではという投資家の懸念に対し、今回のレポートではパラジウムの代替となるプラチナが増え、車一台当たりのプラチナ触媒の量が増えることで、需要の減少は補われる可能性があることを明らかにしたいと思う。詳しくは「2022年8月 プラチナ投資のエッセンス 代替の増加と一台当たりのプラチナ触媒の増量が、自動車減産によるプラチナ需要減少を十分にカバー」をご覧ください。

https://platinuminvestment.com/files/583994/WPIC_Platinum_Essentials_July_2022.pdf



(@wpicjapan)

免責事項: 本資料は情報提供に過ぎず、WPICの投資提案を意図するものではなく、また、そのように解釈されるべきでもありません。